

町議会 12月定例会での私の一般質問と町答弁の概要は下記のとおりです。

1. 池田町平坦部水道用地下水の保全対策は

【薄井】 町平坦部の水道用水源は地下水を揚水している。安曇野市の地下水調査から、町地下水は松本盆地大きな地下水甕（かめ）とつながっている可能性が高い。安曇野市の地下水が減少しているが、町の水道用地下水への影響はないか。



5丁目にある水道用地下水揚水第5水源：地下44mから揚水

《建設水道課長》 5丁目に3水源あり、平成29年の地下水位は地下15m～22m、採水している位置は地下33m～60mである。今のところ揚水に支障はない。

【薄井】 安曇野市の調査によると、松本盆地の水田作付面積が現在よりさらに40%減った場合、町の地下水位は現在より5m～10m低下すると推測される。その場合家庭用など浅井戸の水枯れが心配である。町として浅井戸の調査を行えないか。

《住民課長》 家庭用浅井戸の調査について検討する。

【薄井】 松本盆地の地下水保全策として、ミネラルウォーター製造業揚水量の上限規制及び業者総数の規制が求められる。町としてアルプス地下水保全対策協議会にそのことを提言できないか。

《住民課長》 協議会のルールとして「具体的な規制は含まれていない」としているので、提言できない。

【薄井】 町の地下水保全策として、東山の森林涵養対策が重要である。町の対策は。

《産業振興課長》 本年5月25日の「森林経営管理法」成立に基づき、来年度から新たな「森林管理システム」が始まる。これを活用し、森林多面的機能（水源涵養土砂災害防止など）が果たせるよう森林整備を行う。

2. ブロック塀の安全点検対策は

【薄井】 大阪北部地震のようなブロック塀倒壊による死亡事故が起きないように、ブロック塀の安全点検をどのように行うか。

《総務課長》 自主防災会に再度点検を依頼する。またブロック塀所有者に点検していただくよう広報で再度お願いする。

今月の一首 ” 青空にアルプスの峰雪白し
赤彦 麓 今も変わらじ ”

12月定例会の主な内容

12月定例会は12月10日から19日まで開かれ、議案10件、陳情4件などを審議しました。議案は全て可決し、陳情は3件を採択とし、1件を継続審査としました。その概要は下記のとおりです。詳細は後日、池田民報でお知らせします。

◎一般会計補正予算 補正額 1億5,071万円

- 障がい者福祉事業費 7,120万円
前期のなかで当初を上回る障がい者福祉費が発生したための補正。
- 災害復旧費 4,180万円
昨年10月22日～23日の台風21号の降雨により、中之郷地区の東山にある町道法面が28.5mにわたり地滑りしたので復旧工事を行う。
- 道路維持費 2,230万円
道路の除雪に係わる経費（委託料など）
- 審査：全議員の賛成で可決

◎通学支援バスに関する陳情書

- 陳情者：池田同窓会長・PTA会長
- 内容：池田工業高校の生徒が安心して通学できるよう、学生無料の通学支援バスの運行配備をお願いする。
- 審査：全議員の賛成で「継続審査」
【継続審査とした理由】
 - ・生徒無料にした場合、町負担の影響を調査、検討することが必要である。
 - ・他の高校生との均衡も考慮すべき。
 - ・なんらかの支援検討も必要では。

◎後期高齢者の医療費窓口負担の見直しに当たり原則1割負担継続を求める陳情

- 陳情者：全日本年金組合大北支部
- 審査：賛成多数で「採択」、私も賛成

◎安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

- 陳情者：長野県医療労働組合連合会
- 審査：全議員の賛成で「採択」

◎全国知事会が求める日米地位協定の抜本的見直しと日本からオスプレイの撤去を求める陳情

- 陳情者：池田九条の会
- 審査：全議員の賛成で「採択」